

	No. 187 2010.2.2
	東京都千代田区六番町 1 TEL 03-3263-0441 FAX03-5210-7422-5

普天間基地はいらない、新基地建設を許さない！ 1.30全国集会開催
 ～全国から6000人が東京・日比谷野外音楽堂に結集～



1月30日、「普天間基地はいらない 新基地建設を許さない 1・30全国集会」が東京・日比谷野外大音楽堂で開催された。集会には現地沖縄の仲間100名をはじめとして、平和団体、労働組合、市民団体、一般参加者など全国から6000人が結集した。全国一般も中央を先頭にして、各地方労組の仲間は各県の平和センターや自治労各県本部の隊列に参加し、全国各地から参加をした。

集会は、はじめに藤本泰成平和フォーラム事務局長から「自公政権下の日米合意を履行しないことは日米同盟の危機と煽っているが、発言しているのはアメリカの国防族、軍事利権のメンバーだ。鳩山首相が施政方針演説で強調した“命を守る”ことがキーワード。現在の世界は、武力で平和はつくれないうし、命を守れない。新しい日米関係や東アジアの平和を実現するためにも、普天間基地を閉鎖し、辺野古新基地建設を阻止しよう」と提起がされた。

来賓として駆けつけた内閣府特命担当大臣でもある社民党党首の福島みずほ参議院議員からは、「辺野古基地をつくることは不可能だ。社民党が許さない。内閣を挙げて普天間を返還させ、県外・国外移転へ全力を尽くす。日本が決断すれば実現できる。日米関係が壊れることはない。5月末に結論を出すまで数カ月、渾身の力を込めて絶対に勝つ」との力強い訴えがされた。



続いて、現地沖縄の3人の仲間から報告がされた。山城博治沖縄平和運動センター事務局長からは、名護市長選に勝利し元気づく沖縄の様子や1945年のアメリカ上陸からいまなお基地によって苦しめられている現実を踏まえて「戦後を返せ」「沖縄を返せ」との怒りの訴えがされた。安次富浩ヘリ基地反対協共同代表からは「名護市長選に勝ち、これ以上の民意はない。県内移設はダメだと連立政権に突きつけたい」と、伊佐真次・ヘリパットいらない住民の会共同代表からは、「全国のみなさんと連帯し、新基地建設を許さない国民的機運を広げていこう」と要請がされた。



また、同じアメリカの基地を抱えた山口県岩国市からは、井原勝介前岩国市長が連帯のアピールが送られた。

最後に、集会決議を提案・拍手で採択し、シュプレヒコールを行い集会は終了した。その後、一人ひとりがプラカードを持ちながら「沖縄を返せ」「普天間基地はいらない、辺野古への基地建設は許さない」と訴えデモ行進も取り組まれた。